

開館
25 周年

「たまるくと市民感謝ウィーク」開催！

さらに

— 地域で愛される科学館へ —

多摩六都科学館（東京都西東京市、館長：高柳雄一 以下、当館）は、2019 年 3 月に開館 25 周年をむかえます。地域に根ざした科学館の記念事業として、多摩六都圏域市民の皆様への感謝を示すとともに、さらに愛着を深めていただけるよう、1 年を通して 5 市の「市民感謝ウィーク」を開催します。



多摩六都科学館

《25 周年記念ロゴ》

- 【名称】開館 25 周年イベント たまるくと市民感謝ウィーク
- 【内容】対象市に在住・在学・在勤の方は入館料が半額（※要証明）
各市最終日には特産市と無料シャトルバスの運行。
他、特別企画あり。
- 【期間】東村山市：2018 年 5 月 22 日（火）～ 27 日（日）
東久留米市：2018 年 7 月 3 日（火）～ 8 日（日）
（小平市、清瀬市、西東京市は調整中）

【開館 25 周年イベント第一弾】

東村山市民感謝ウィーク

2018 年 5 月 22 日（火）→ 27 日（日）



東村山市公式キャラクター
ひがっしー

- ポイント① 東村山市民の皆様は入館料が**半額**に！
- ポイント② 【日曜限定】**特産市 & 無料シャトルバス**運行！
- ポイント③ 【プラネタリウム企画】東村山の風景から**世界一の星空**へ！

※その他イベント等、詳細はチラシをご参照ください。

○ はじまりは地域の子ども達のため

当館のはじまりは 1987 年 1 月、多摩北部の 6 市（小平市、東村山市、田無市、保谷市、清瀬市、東久留米市）で設置した、多摩北部都市広域行政圏協議会による「子供科学博物館」の建設の構想から、7 年の準備期間を経て 1994 年に開館しました。

【館の沿革】

- 1994 年 3 月 1 日に開館。
- 2000 年 10 月 科学館ボランティア制度を発足
- 2001 年 1 月 展示リニューアルオープン
- 2003 年 12 月 多摩六都科学館基本計画策定（10 年間）
- 2004 年 4 月 高柳雄一館長が就任
- 2012 年 4 月 指定管理者(株)乃村工藝社による管理運営を開始
- 2012 年 7 月 **プラネタリウムリニューアルオープン。**
10 月 放映機「ケイロンII」**世界一に認定**
- 2013 年 3 月 展示リニューアルオープン
年間利用者数 18 万 1 千人（過去最高）
- 2014 年 3 月 **開館 20 周年**記念式典・イベントの実施
年間利用者数 20 万 9 千人（過去最高を更新）
- 2017 年 3 月 年間利用者数約 25 万 4 千人（過去最高を更新）
累計 350 万人に到達



○ 市民の皆様とともに成長する科学館を目指して

AI, ビックデータ、IOT とめまぐるしい速さで発展する科学技術や、グローバル化社会の進展とともに地域を取り巻く社会環境の激変のなか、地域に貢献することをめざし「連携・交流・成長」を掲げ活動を続けてきました。未来を担う子ども達のための科学館としての役割はもちろんのこと、最近では中高生や大人のためのサイエンスカフェ、分野の垣根を越えたアートや考古学のイベント開催、地域の事業者によるグルメ出店、地域の学校や公民館へのアウトリーチなど、活動の幅を広げています。食と農、健康カラダづくりなど、子ども世代だけでなく生涯を通じて学びの拠点となれるよう取り組んでいます。

○ さらに地域の皆様に愛される科学館へ

当館の年間運営費のほとんどは圏域 5 市の負担金によるもので、70 万人を超える市民の皆様を支えられて成り立っています。これまでのご愛顧への感謝を込め、「市民感謝ウイーク」を企画いたしました。これまで科学館にいらしたことの無い方に知っていただく機会として、また、これまでに増してさらに皆様に「自分の科学館」として愛着を深めていただけるよう、この機会をご利用いただければ幸いです。



本件に関する
問い合わせ先

多摩六都科学館 広報担当（石山・安倍）まで
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 5-10-64
TEL : 042-469-6100(代表) 042-469-6984(広報直通) mail : info2@tamarokuto.or.jp